



南

## 癒しのバレエ



益城町に暮らして、そろそろ十五年の歳月がとうとうとしています。仕事、子育て、趣味もいろいろとやっています。『ビーチボールバレエ』という不思議なスポーツに出会いました。

上益城郡内では、町内スポーツ大会や、小中学校のPTAレクリエーションの種目でもあり、盛んであるのですが、私は、この町に嫁ぐまで全く知らないスポーツでした。その楽しさに心奪われ「カラーズ」というチームの一員となつて、四年目に

このコーナーは、皆さんで作っていただくコーナーです。日ごろ感じていること、体験したことなどを自由に発言していただくため、題名は特に決めていません。次回の方は、執筆者の紹介で登場していただきます。

なります。

ビーチボールバレエの良さは、簡単で、子どもから年配の方まで誰もが楽しめる所です。反面、ボールの扱いが特殊で、極めようと思えばなかなか奥深く、チームスポーツとして成り立つハードな所も持ち合わせています。

私はどちらの良さも味わうべく「カラーズ」で町や郡内の大会に出場させていたしながら、いろいろなレクリエーションにも参加をして多くの方に楽しさを知ってもらえたら良いなと思って過ごしています。職場の病院でも、患者さんの活動に取り入れて好評です。

忙しい日々の中、練習で流す汗や、人の和の中で自然と広がる笑顔に、とても癒されています。これからでもできる限り長く続けていきたいと思っています。皆さまも、機会がありましたら是非、やってみられることをお勧めします。きっと意外な楽しさを感じられることと思いますよ。

今回は、辻の城団地の田川尚子さんに登場していただきます。

わがまち

再見

⑤

熊本テクノ・リサーチパーク

熊本空港に隣接する田原地区の台地に、熊本テクノ・リサーチパークがあります。楠や銀杏、椿などの樹木の中に、モダンな研究棟や研修施設が点在し、中央部には、ベルサイユ宮殿のミニチュアのような、美しい洋風庭園も配されています。

◆シリコンアイランドの中核  
カリフォルニアに展開する、世界一のIC集積地帯「シリコン・バレエ」に倣って、熊本県が造成したもので、シリコン・アイランド九州の中核を担う施設でもあります。益城町は、毎年5月にこの公園でジョギングフェアを催しており、県内外から多くの参加者がやってきます。パークは、熊本テクノポリスの中核的研究開発拠点として、昭和59年度に着工し、平成16年度まで、2期にわたって造成と分譲が続けられてきました（総事業費は49億2千万円）。

◆立ち並ぶ研究開発棟  
その結果、約41haの造成地の中に、中央公園、くまもとテクノ

## 緑の中に点在する研究施設群



ノ産業財団、熊本大学地域共同研究センターのほか、NECマイクロシステム、富士通南九州エンジニアリング、熊本ソフトウェア、同仁化学研究所など20以上の企業群も張り付いています。街中のオフィスと違って、緑豊かで静寂そのものの職場環境は、ちよつと比類がないほどです。

パークの中核に位置するテクノ産業財団は、いま「新事業の創出」に向けて、研究開発から事業展開に至る総合的な支援体制を整え、各機関の連携強化に取り組んでおり、その成果が期待されています。

(T)